

【議事】定 37

(2)平成 18 年度第 2 回「宇宙オープンラボ」の選定結果について

JAXA の石塚淳 産学官連携部長が資料 37-2(オープンラボ)を説明した後、様々な質問があった。

オープンラボ 16 年度に取り組みを開始した活動で、産官学チームからの提案を選定し、活動資金を提供するプログラムである。今回は、18 年度第 2 回目の選定結果が報告された。新規提案 17 件、継続提案 1 件が集まり、新規提案 6 件と継続提案 1 件が選定された。

野本：応募数の推移はどうなのか。横ばい、減少、増加のいずれなのか。

JAXA 石塚：毎回 20 件くらいで、今回は平均的なところである。また、事前に相談にくることが行われており、提案に至らないものを入れるともっと沢山の案件を扱っている。

野本：内容は向上してきているのか。

JAXA 石塚：事前にコーディネータと相談しているので、段々 JAXA が期待していることへの理解が進んでいる。

松尾：提案に至らないものとはどんなものか。

JAXA 石塚：技術的に可能性が低いと思われるもの、ビジネスの可能性の無いものが提案に至らない。

青江：具体的に成果を上げたものはあるか。

JAXA 石塚：後半年で丸 3 年になる。これから段々に成果が出

てくるものと期待している。

青江：フェアリングの塗料があったが。

JAXA 石塚：それは別の仕組みで取り組んだものであるが、フェアリングに使った塗料を一般用に変更した塗料で、年商が 1 億円を超える大きな事業になっている。

青江：もっと外に無いのか。

JAXA 石塚：宇宙に CCD カメラを持ち込み、コマーシャルフィルムを撮った例がある。

井口：うろ覚えではあるが目標に近づいてきたと思う。

JAXA 石塚：幅広い人から提案を受けようになっているので、もう少し長い目でご覧頂きたい。